

所 信 表 明 (要 旨)

平成30年6月20日

つくばみらい市

平成30年第2回定例会の日程に先立ち、発言の機会をいただきました。

初めに、6月18日に大阪で発生した地震により、お亡くなりになった方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に対し、心よりお見舞いを申し上げます。

一日でも早く、平穏な生活に戻れるよう、お祈りをいたしております。

さて、ただ今、全国市議会議長会及び茨城県市議会議長会からの表彰状の伝達が行われましたが、表彰を受けられた「今川議員」、「高木議員」、「中島議員」におかれましては、誠におめでとうございます。

今後、ますますのご活躍をご祈念申し上げます。

それでは、本日、市長就任後初めての議会に当たりまして、私の市長としての所信の一端を申し上げさせていただきます。議員の皆様、並びに市民の皆様のご理解、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

去る4月22日に執行されました市長選挙において、議員の皆様方をはじめ、多くの市民の皆様、そして各方面からの力強いご支援をいただき、当選させていただきましたことに、深く感謝を申し上げます。

このつくばみらい市を創成するため、市政運営の舵取りを任された重責を改めて実感しております。

私は、選挙期間中、市民の皆様に、「よりそう市政」ということを、ずっと訴えてきました。

人に寄り添って、人の話を聴いて、皆さんと対話する。

現場に行って、市民の皆さんの話を聴く、そして、それを市政に反映させる。

こうした初心を忘れることなく、今後の市政運営に取り組んでまいります。

私は、新しいつくばみらい市を作り上げるために、選挙戦において、6つの「みらいビジョン」を掲げてまいりました。

今後は、この6つのビジョンを基本として政策を検討し、つくばみらい市発展のための市政運営を進めてまいります。

まず1つ目のビジョンとして、「バランスの良いまちづくり」であります。

徹底した行政改革を進めるとともに、市民の声が届くまちづくりを目指します。私直轄の「地域担当窓口」を設置し、地域の生の声を聴き、地域に寄り添う体制づくりを進めます。

都市計画の見直しも行います。

みらい平地区の活力を活かしながら、また、みらい平地区の活力を活かすためにも、地域ごとに必要な施策を実現する必要があります。そのためには、都市計画を考え、地域に適したまちづくりを進めなければなりません。

市全体を鳥瞰し、都市計画を考えることで、つくばみらい市全体が発展するまちづくりを目指してまいります。

2つ目は、「健全な財政運営」です。

自治体の財政は、日本全国、ほとんどの自治体で厳しい状況となっています。そうした中でも、10年先、20年先を見据えて、持続可能な行政運営を進めることが大切です。

つくばみらい市は、合併後、みらい平地区の発展などにより、急速に人口を伸ばしてきました。他の自治体が人口減少に苦しむ中、誠に喜ばしいことでもあります。

反面、人口増に対応するための支出も増え、多くの借金を抱えてしまったことも事実です。

私は、市民の皆様の幸福を実現していくために、必要な予算を使うことは、悪いこととは思いません。

ただ、その予算が本当に必要なものなのか、もっと工夫をすることによって、予算を減らすことは出来ないのか、そういう視点を常に持って、施策を精査することが大切だと思っております。

同時に税収など、歳入の確保も大切です。定住促進策を進めることにより、更なる人口増加を図ります。

また、工業用地の整備等も進め、企業誘致にも努めてまいります。

3つ目は「頼れる福祉」です。

高齢者の方や、障がいのある方などが、安心して暮らせるまちづくりを進めます。

「つくばみらい市に総合病院を」という声は、私が議員時代からよく聞いていました。

市内に総合病院が出来れば、それは大変望ましいことですし、市民の皆様の安心に繋がると考えています。

しかし、現時点では、医療圏におけるベッド数の制限などにより、総合病院を誘致することは非常に難しい状況で、当面の対策が必要となっています。

幸いなことに、つくばみらい市の周辺には、高度な医療を提供できる総合病院が数多くありますので、それを活用したいところですが、病院に行くまでの交通手段が極めて少ない状況です。

本市のコミュニティバスにおいても、守谷駅に乗り入れてはいるものの、本数も路線も少なく、また、デマンド乗合タクシーにおいても、ドアツードアで利便

性は高いものの、市外には出られません。

市民の皆様は総合病院に通える移動手段を望んでいます。

そこで私は、コミュニティバスの再編と併せて、市外の総合病院に、ダイレクトに移動出来る「病院バス」を創設したいと考えています。

総合病院の誘致はこれからも続けていきますが、まずは、病院への移動手段を確保することが大切と考え、現在、導入に向け準備を進めているところです。

また、福祉政策の一つとして、子どもの貧困対策にも取り組んでまいります。家庭環境などにより、十分な食事や学習が出来ないお子さんがいます。行政としても手をこまねているわけにはいきません。現在の制度等を精査し、必要な施策に取り組んでまいります。

児童虐待の防止にも取り組んでまいります。

先日、東京目黒区で、当時5歳の児童が長い間 虐待を受けた末に亡くなるという、大変いたましい事件がありました。

ニュースを見るたびに悲しくなります。何の罪もない、将来のある子どもたちが、本来、どんなことがあっても子どもを守る立場の大人たちから虐待を受けてしまう。こんなことは絶対にあってはならないと思います。

関係機関と協力し、強い信念を持って、児童虐待防止に取り組みます。

4つ目は、「みらい型農業・産業」です。

商・工・農、それぞれの関係団体等との連携を促進します。

本市の基幹産業である農業は、後継者の問題等も含め、厳しい状況に置かれています。

今後、持続可能な農業経営を行っていくためには、農業の魅力を高め、活性化を図る必要があります。

そのため、農業経営の効率化を進めるとともに、地元農産物の消費拡大、ブランド化などに取り組みます。

本市には、「みらいプレミアム」という認証特産品がありますが、つくばみらい市産の商品を十分に活かしているかは疑問に思っています。

「みらいプレミアム」を見直し、新たな特産品を創ります。併せて、新たな販売戦略等を確立し、生産から加工・販売までをサポートできる仕組みづくりも進めます。

また、ベンチャー企業など、新しいビジネスが生まれるまちづくりを目指します。

企業誘致についても強力に推進します。

本市には、常磐自動車道やつくばエクスプレスなど、優れた交通網が整備されています。市内での工業用地の整備などにより、企業の受け皿も整いつつありま

す。沿線各市で企業立地の需要が高い圏央道も近接しています。こうした利点を活かし、私自身がセールスマンとなって、つくばみらい市の魅力を各方面にアピールし、企業誘致を強力に進めてまいります。

5つ目は「安心の子育て」です。

まず、早急に取り組まなければならないのは、小学校の適正配置の再検討です。再検討といっても、適正配置の歩みを止めるものではありません。

私は、議員として活動しているときから、一貫して、小・中学校は、一定規模の児童生徒数があることが必要だと考えてきました。

その中で、複式学級が生じている学校などについては、子どもたちのために、すぐにでもその改善を図らなければならないという強い思いがあります。

しかし、これまで進めてきた小・中学校の適正配置は、市民の皆様に必要な理解を得られていない状況であります。また、みらい平地区の中学校についても、明確な方針は出されていない状況です。

そのため、私は、みらい平地区の中学校建設をどうするかを含め、小・中学校の適正配置を進めるため、新たな組織を編成します。そして、もう一度、市民の皆様と一緒に検証していきたいと思っています。

次に子育て支援です。

安心して子育てができるまちを実現するために、妊娠、出産、子育て、それぞれの段階に応じた支援、また、それぞれの段階を統括した支援ができる仕組みづくりも進めます。

つくばみらい市で生まれた子どもが、つくばみらい市で育って、つくばみらい市で家庭を持つ好循環を作っていくように、努めてまいります。

6つ目は、「災害に強いまち」です。

2011年に東日本を襲った「東日本大震災」、2015年9月の「関東・東北豪雨」、2016年4月の「熊本地震」、今年の「九州北部豪雨」など、立て続けに大災害が発生しています。

冒頭で申し上げましたが、今週 月曜日にも、大阪で震度6弱の地震が発生し、これまでに5人の尊い命が犠牲になっています。

私は、この大阪の地震の報道を受け、本市の学校施設及び通学路の安全点検を早急に実施するよう指示したところですが、こうした災害に迅速に対応するためには、常日頃から、消防署や消防団、警察署など、関係機関との連携を深め、さらに、市民の皆様が一致協力し、有事に備えることが必要であると考えています。

自然災害だけではありません。犯罪も多様化し、各地で毎日のように発生しています。

犯罪は起こってしまう前に、未然に防ぐ努力が必要です。

私は、行政の長として、市民の皆様の大切な命や財産を守る使命があります。災害や犯罪対策に万全を求めるのは難しいことですが、行政として、今やるべ

きことを、一つずつ確実に進めていきたいと思えます。

以上、私の考える6つのみらいビジョンについて申し上げます。

私の好きな言葉に「ガバナンスは市民の中にある」という言葉があります。

私の目指す「よりそう市政」に繋がる言葉です。

市民の皆様の声をよく聴き、それを市政に反映させる、私は、そういう市政運営を目指していきたいと考えております。

初心を忘れず、皆様のために働きたい。その一心で仕事をしてまいります。

われわれ地方自治体を取り巻く環境は、今後ますます厳しさを増すかもしれません。

私たちは、その流れの中にあっても、10年先、20年先を見据え、つくばみらい市を発展へと導かなくてはなりません。

これは、私一人の力で成し得るものではなく、議会の皆様、市民の皆様に、ご理解とご協力をいただく必要があります。

改めまして、皆様に、今後の市政運営について、ご理解とご協力をお願い申し上げます。私の所信表明といたします。

= 了 =